

Mizuho Daily Market Report

2024/3/5

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	150.32	150.53	+0.41	▲0.17
EUR	1.0853	1.0856	+0.0019	+0.0005
AUD	0.6525	0.6510	▲0.0017	▲0.0030
SGD	1.3431	1.3434	▲0.0005	▲0.0010
CNY	7.1991	7.1989	+0.0021	+0.0014
MYR	4.7295	4.7225	▲0.0235	▲0.0548
THB	35.79	35.82	▲0.13	▲0.30
IDR	15742	15740	+40	+110
PHP	55.99	55.98	▲0.04	▲0.10
INR	82.90	82.89	▲0.01	▲0.00
VND	24686	24675	+38	+12

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.213%	+3.3 bp	▲6.6 bp
日本(10年)	0.719%	+0.2 bp	+3.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.392%	▲2.2 bp	▲4.8 bp
オーストラリア(5年)	3.728%	▲3.1 bp	▲2.6 bp
シンガポール(5年)	3.011%	▲3.9 bp	▲1.7 bp
中国(5年)	2.243%	▲1.2 bp	+1.8 bp
マレーシア(5年)	3.574%	▲1.2 bp	▲2.1 bp
タイ(5年)	2.250%	▲1.0 bp	+0.4 bp
インドネシア(5年)	6.497%	▲0.3 bp	▲0.4 bp
フィリピン(5年)	6.080%	▲0.1 bp	▲1.5 bp
インド(5年)	7.083%	+0.1 bp	+0.7 bp
ベトナム(5年)	1.460%	▲19.0 bp	▲5.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,989.83	▲0.2%	▲0.2%
N225(日本)	40,109.23	+0.5%	+2.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,912.92	+0.4%	+1.0%
ASX(オーストラリア)	4,174.28	▲0.5%	▲0.4%
FTSTI(シンガポール)	3,122.21	▲0.4%	▲1.5%
SSEC(中国)	3,039.31	+0.4%	+2.1%
SENSEX(インド)	73,872.29	+0.2%	+1.5%
JKSE(インドネシア)	7,276.75	▲0.5%	▲0.1%
KLSE(マレーシア)	1,539.27	+0.1%	▲0.5%
PSE(フィリピン)	6,951.67	+0.5%	+0.9%
SETI(タイ)	1,362.59	▲0.4%	▲2.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,261.41	+0.2%	+3.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	277.29	+0.1%	+1.3%
金	2,114.48	+1.5%	+4.1%
原油(WTI)	78.74	▲1.5%	+1.5%
銅	8,455.91	+0.5%	+1.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	149.60	—	151.00
EUR/USD	1.0740	—	1.0880
AUD/USD	0.6490	—	0.6590
USD/SGD	1.3400	—	1.3480
USD/CNY	7.1850	—	7.2280
USD/INR	4.7160	—	4.8050
USD/THB	35.40	—	36.78
USD/IDR	15530	—	15800
USD/PHP	55.40	—	57.80
USD/INR	82.30	—	83.20
USD/VND	24,300	—	24,700

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は150円台前半でオープン。先週末の冴えない米経済指標を背景に取引開始直後は150円割れの水準まで下落。その後は日経平均株価が4万円の大台を上回る動きに円売り圧力が強まり、ドル円相場も150円台へ値を戻した。その後も底堅い推移が続き、結局150円台前半で海外時間に渡った。

アジア通貨は総じて上昇。今週はアジア各国のインフレ指標の発表や中銀会合、中国の全国人民代表大会に注目が集まっている。

海外市場のドル円は150円台前半でスタート。日経平均株価が4万円の水準を突破する展開を受け、円売りの流れが終始継続。新規材料に乏しい中、NY時間午前中は米金利の上昇を横目に、ドル円は底堅い推移が続き、150円半ばまで上昇。午後はボスティブ・アトランタ連銀総裁の「利下げが連続したものになることは恐らくないだろう」との発言が米金利高基調を強め、その後午前中に付けた高値まで迫るも、上抜け出来ず反落し、150.50付近でクローズ。

【金利】

米債利回りは上昇して終了。特段の新規材料には乏しかったものの、今週は米雇用統計などの重要指標が多く控えている他、社債起債予定も嵩んでおり、先週末の金利低下を調整するような動きとなった。

【予想】

本日のドル円は引き続き150円台での底堅い展開を予想。ドル円相場は先週末から今週にかけて150円アンダーを試す動きが見られているものの、150円割れの水準は定着せず。日米金利差は当面縮小する見込みはなく、対円でドルが買われる流れは継続するものと考えられる。

【本日の予定】

- (日本) 2月 複合PMI(確) / サービス業PMI(確)
- (日本) 国債入札(10Y)
- (アジア) 1月 シンガポール 小売売上高
- (アジア) 2月 インド サービス業PMI(確)
- (アジア) 2月 シンガポール PMI
- (アジア) 2月 フィリピン CPI
- (アジア) 2月 中国 CaixinPMIサービス業
- (アジア) 4Q 韓国 GDP(速)
- (欧州) 1月 ユーロ圏 PPI
- (欧州) 2月 ユーロ圏 サービス業PMI
- (欧州) 2月 独 サービス業PMI
- (欧州) 独 国債入札(5Y)
- (米国) 1月 製造業受注 / 耐久財受注(確)
- (米国) 2月 ISM非製造業景況指数
- (米国) 2月 サービス業PMI(確)
- (米国) スーパーチャージデー

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。